

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2021年7月6日提出
【発行者名】	三菱ＵＦＪ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 横川 直
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目１２番１号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【電話番号】	03-6250-4740
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	１兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2021年1月6日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について有価証券報告書の提出に伴う関係情報の更新等を行うため、本訂正届出書を提出します。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部__は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書の更新後の内容を示します。

なお、「第二部 ファンド情報 第1 ファンド状況 5 運用状況」、「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」は原届出書の更新後の内容を記載します。

第二部【ファンド情報】

第１【ファンドの状況】

１【ファンドの性格】

（１）【ファンドの目的及び基本的性格】

<更新後>

当ファンドは、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。
信託金の限度額は、1,000億円です。

* 委託会社は、受託会社と合意のうえ、信託金の限度額を変更することができます。

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める商品の分類方法において、以下の商品分類および属性区分に該当します。

商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	独立区分	補足分類
単位型	国内	株式	MMF	インデックス型
		債券		
	海外	不動産投信	MRF	
追加型	内外	その他資産 ()	ETF	特殊型 ()
		資産複合		

属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替 ヘッジ	対象 インデックス	特殊型
株式	年１回	グローバル	ファミリー ファンド	あり ()	日経２２５	ブル・ベア型
一般	年２回	日本				
大型株	年４回	北米	ファンド・ オブ・ ファンズ	なし	TOPIX	条件付運用型
中小型株	年６回	欧州				
債券	(隔月)	アジア			その他 ()	ロング・ ショート型/ 絶対収益 追求型
一般	年12回	オセアニア				
公債	(毎月)	中南米				
社債	日々	アフリカ				
その他債券	その他	中近東				その他 ()
クレジット	()	(中東)				
属性		エマージング				
()						
不動産投信						
その他資産						
(投資信託証券						
(債券 社債、						
その他債券))						
資産複合						
()						

当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）でご覧いただけます。

ファミリーファンド、ファンド・オブ・ファンズに該当する場合、投資信託証券を通じて投資収益の源泉となる資産に投資しますので商品分類表と属性区分表の投資対象資産は異なります。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

商品分類の定義

単位型・追加型	単位型	当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われのないファンドをいいます。
	追加型	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。
投資対象地域	国内	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	海外	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	内外	信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資対象資産	株式	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	債券	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	不動産投信（リート）	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券および不動産投信以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、株式、債券、不動産投信およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
独立区分	MMF（マネー・マネージメント・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「MMF等の運営に関する規則」に規定するMMFをいいます。
	MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「MMF等の運営に関する規則」に規定するMRFをいいます。
	ETF	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号および第2号に規定する証券投資信託ならびに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいいます。
補足分類	インデックス型	信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	特殊型	信託約款において、投資家（受益者）に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

属性区分の定義

投資対象資産	株式	一般	次の大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいいます。
--------	----	----	---------------------------------

訂正有価証券届出書（内国投資信託）

	大型株	信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
	中小型株	信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
債券	一般	次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらない全てのものをいいます。
	公債	信託約款において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。以下同じ。）に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	社債	信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他債券	信託約款において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	クレジット属性	目論見書または信託約款において、信用力が高い債券に選別して投資する、あるいは投資適格債（ＢＢＢ格相当以上）を投資対象の範囲とする旨の記載があるものについて高格付債、ハイイールド債等（ＢＢ格相当以下）を主要投資対象とする旨の記載があるものについて低格付債を債券の属性として併記します。
	不動産投信	信託約款において、主として不動産投信に投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、主として株式、債券および不動産投信以外に投資する旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、複数資産を投資対象とする旨の記載があるものをいいます。
決算頻度	年１回	信託約款において、年１回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年２回	信託約款において、年２回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年４回	信託約款において、年４回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年６回（隔月）	信託約款において、年６回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年12回（毎月）	信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいいます。
	日々	信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいいます。
	その他	上記属性にあてはまらない全てのものをいいます。
投資対象地域	グローバル	信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	日本	信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	北米	信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	欧州	信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アジア	信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	オセアニア	信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中南米	信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

投資形態	アフリカ	信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中近東（中東）	信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	エマージング	信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産（一部組み入れている場合等を除きます。）を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	ファミリーファンド	信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するものをいいます。
為替ヘッジ	ファンド・オブ・ファンズ	一般社団法人投資信託協会が定める「投資信託等の運用に関する規則」第２条に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます。
	あり	信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいいます。
対 象 イ ン デックス	なし	信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。
	日経２２５	信託約款において、日経２２５に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	ＴＯＰＩＸ	信託約款において、ＴＯＰＩＸに連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記以外の指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
特殊型	ブル・ベア型	信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動もしくは逆連動（一定倍の連動もしくは逆連動を含みます。）を目指す旨の記載があるものをいいます。
	条件付運用型	信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいいます。
	ロング・ショート型／絶対収益追求型	信託約款において、ロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨もしくは特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨の記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記特殊型に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

[ファンドの目的・特色]

ファンドの目的

オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

投資対象

オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等が実質的な主要投資対象です。

- オーストラリアドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にオーストラリアドル建てとなるように外国為替予約取引等を行います。
- ファンドの流動性等を勘案し、一部、国債等に投資する場合があります。



劣後債、優先証券とは

劣後債、優先証券(以下、「ハイブリッド証券」という場合があります。)は、債券と株式の両方の特性を有しており、上場または非上場となっています。ハイブリッド証券は一般に利息(配当)が定められており、満期時や繰上償還時に額面で償還される等、債券に似た性質を有しています。同一発行体が発行している普通社債とハイブリッド証券を比べると、ハイブリッド証券の方が普通社債よりも利回りが高く、また期待リターンも高くなります。その一方で、リスクは普通社債に比べてハイブリッド証券の方が高くなり、また弁済順位は普通社債に比べて低いという特徴もあります。また一部のハイブリッド証券については償還時に株式に転換されるものもあります。

各証券の特性（イメージ）



■ 弁済順位とは、発行体が経営破綻に陥った場合に、債権者等に対して残余財産を弁済する順位のことであり、弁済順位の高位のものから弁済されます。

！ 上図はハイブリッド証券の特性を示したイメージ図であり、各証券の特性すべてを網羅するものではありません。

運用の
委託先

債券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。

AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッド



- オーストラリアを代表する総合金融グループであるAMPグループの一員で、オーストラリア最大規模の運用会社です。
- オーストラリアにおける大手運用会社として約1,898億豪ドル(約15.0兆円)*の資産を運用しています。
- オーストラリアにおいて20名を超える債券運用チームを有し、特にクレジット運用に強みを持ちます。

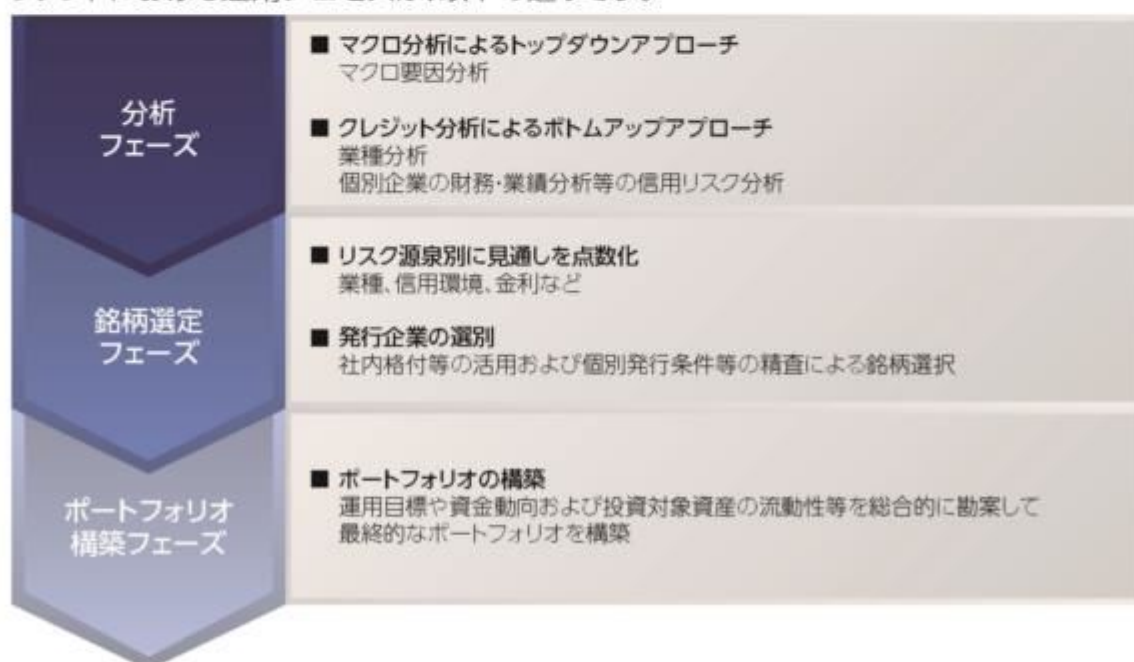
*2020年12月末現在、使用為替レートは1豪ドル=78.84円

1 運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。

運用方法
運用プロセス

債券等への投資にあたっては、高水準のインカム収入を確保しつつ、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業績分析等の信用リスク分析に基づき割安度を評価し、銘柄選定を行います。

- ファンドにおける運用プロセスは、以下の通りです。



1 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

1 上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用ができない場合があります。

📄 「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/corp/operation/fm.html>)でご覧いただけます。

為替対応
方針

原則として、為替ヘッジを行いません。

- 為替ヘッジを行わないため、オーストラリアドル円の為替相場の変動による影響を受けます。

■ ファンドの仕組み

運用は主にAMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンドへの投資を通じて、オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。



分配方針

毎月の決算時に分配を行います。

- 毎月の決算時(7日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- 原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



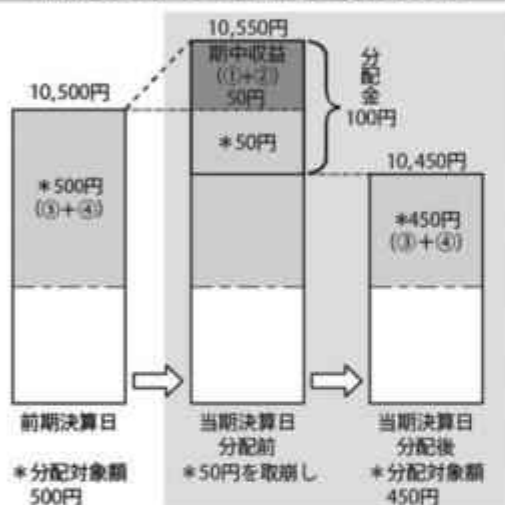
- ◆分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

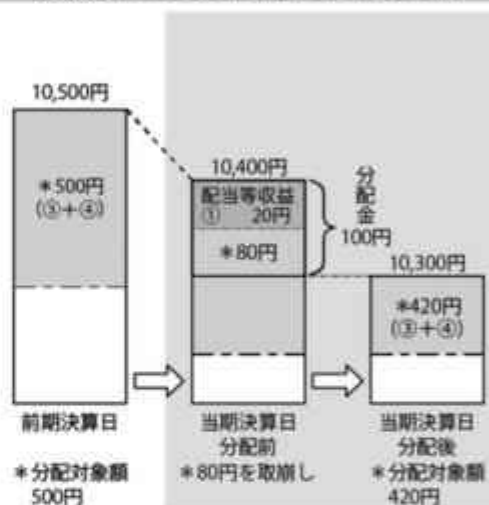
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



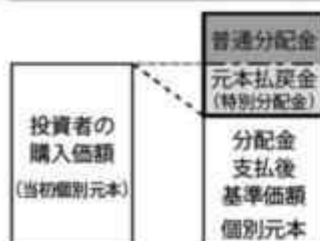
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

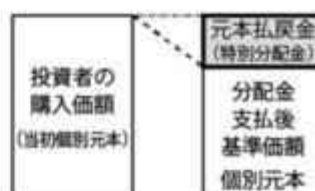
- ◆投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、「4 手数料等及び税金 (5) 課税上の取扱い」をご参照ください。

■主な投資制限

外貨建資産	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
デリバティブ	デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

(3) 【ファンドの仕組み】

< 訂正前 >

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。
委託会社と再委託先との契約 「信託財産の運用指図権限委託契約」	運用指図権限委託の内容およびこれに係る事務の内容、再委託先が受ける報酬等が定められています。

委託会社の概況（2020年10月末現在）

- ・金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・設立年月日
1985年8月1日
- ・資本金
2,000百万円
- ・沿革
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ投信株式会社に変更
2015年7月 三菱ＵＦＪ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社に変更
- ・大株主の状況

株 主 名	住 所	所有株式数	所有比率
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目４番５号	211,581株	100.0%

< 訂正後 >

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
--	----

委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。
委託会社と再委託先との契約 「信託財産の運用指図権限委託契約」	運用指図権限委託の内容およびこれに係る事務の内容、再委託先が受ける報酬等が定められています。

委託会社の概況（2021年4月末現在）

- ・金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・設立年月日
1985年8月1日
- ・資本金
2,000百万円
- ・沿革
 - 1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
 - 2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
 - 2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ投信株式会社に変更
 - 2015年7月 三菱ＵＦＪ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社に変更
- ・大株主の状況

株 主 名	住 所	所有株式数	所有比率
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

3【投資リスク】

< 更新後 >

(1) 投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

（主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。）

価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

為替変動リスク

実質的な主要投資対象である海外の公社債は外貨建資産であり、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合

には、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

信用リスク

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

（金融機関の実質的な破たんに関するリスク）

金融機関の破たん処理等に関し、株主だけでなく債権者にも損失負担を求める措置（ベイル・イン）に関する法制度が導入される国・地域においては、監督当局により実質破たん状態にあると認定された金融機関について、劣後債や優先証券、普通社債等についても元本の一部もしくは全部の削減や、発行体の普通株式への転換等、損失吸収措置がとられる可能性があり、この場合には当ファンドの基準価額が大きく下落する要因となります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、当ファンドが組み入れる劣後債および優先証券等は、一般の公社債と比べ市場規模が小さく、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。

劣後債および優先証券等（以下、「ハイブリッド証券」といいます）への投資には次のような特徴があり、価格変動・信用・流動性の各リスクは普通社債への投資と比較して相対的に大きいものとなります。

（法的弁済順位の劣後）

一般的にハイブリッド証券の法的弁済順位は株式に優先し、普通社債に劣後します。したがって、発行体が経営破たん等に陥った場合、普通社債等の元利金が支払われてもハイブリッド証券は元利金の支払いを受けられないことがあります。また、発行体が経営不安、倒産、国有化などに陥った場合には、ハイブリッド証券の価値が大きく減少すること、または無くなることがあり、この場合には当ファンドの基準価額が大幅に下落することがあります。さらに、ハイブリッド証券は、一般的に同一発行体の普通社債と比較して低い格付が格付機関により付与されています。

（繰上償還の延期・前倒し）

一般的にハイブリッド証券には、繰上償還（コール）条項が付与されており、この繰上償還の実施は発行体が決定することとなっています。繰上償還されることを前提として取引されている証券もあり、これらの証券が市場で予想されていた期日に繰上償還が実施されない場合、あるいは実施されないと見込まれる場合、また市場で予想されていた期日以前に償還される場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

（利息・配当の繰り延べまたは停止）

利息または配当の支払い繰り延べ条項を有するハイブリッド証券は、発行体の財務状況や収益動向等の要因によって、利息または配当の支払いが繰り延べまたは停止される可能性があります。この場合、期待される利払いや配当が得られないこととなり、ハイブリッド証券の価格が下落する可能性があります。

（損失吸収条項）

金融機関が発行するハイブリッド証券の中には、監督当局により実質破たん状態にあると認定された場合等に元本の一部もしくは全部が削減される、または発行体の普通株式に転換されるなどの損失吸収条項が付与されているものがあります。損失吸収条項に該当した場合、ハイブリッド証券の価格は大きく下落することがあります。

（株式等への転換）

一部のハイブリッド証券には、発行体の判断で実質的に株式等に転換する条項が付与されている場合があります。これらの証券が転換される、もしくは転換されると見込まれる場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

（制度変更等）

将来、ハイブリッド証券にかかる税制の変更や、当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更等があった場合には、税制上・財務上のメリットがなくなるか、もしくは著しく低下する等の事由により、投資成果に悪影響を及ぼす可能性があります。

当ファンドは、格付けの低い投資適格未満の普通社債、劣後債および優先証券等に投資する場合があり、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

留意事項

- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。

（２）投資リスクに対する管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。この内容は運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

具体的な、投資リスクに対するリスク管理体制は以下の通りです。

トレーディング担当部署

有価証券等の売買執行および発注に係る法令等の遵守および監視・牽制を行います。

コンプライアンス担当部署

法令上の禁止行為、約款の投資制限等のモニタリングを通じ、法令等遵守状況を把握・管理し、必要に応じて改善の指導を行います。

リスク管理担当部署

運用リスク全般の状況をモニタリング・管理するとともに、運用実績の分析および評価を行い、必要に応じて改善策等を提言します。また、事務・情報資産・その他のリスクの統括的管理を行っています。

内部監査担当部署

委託会社のすべての業務から独立した立場より、リスク管理体制の適切性および有効性について評価を行い、改善策の提案等を通して、リスク管理機能の維持・向上をはかります。

<流動性リスクに対する管理体制>

流動性リスクは、運用部門で市場の流動性の把握に努め、投資対象・売買数量等を適切に選択することによりコントロールしています。また、運用部門から独立したリスク管理担当部署においても流動性についての情報収集や分析・管理を行い、この結果はリスク管理に関する会議体等に報告されます。

* 組織変更等により、前記の名称および内容は変更となる場合があります。

〔再委託先の管理体制〕

リスク管理およびコンプライアンスの機能は、運用部門から独立したコンプライアンスおよびオペレーション・リスク管理部門によって実施しております。同部門により、全てのファンドについて投資ガイドライン違反やリスク管理指標からの逸脱がないかどうかのチェックを行なっています。

また、このほかに、投資ガイドラインなどに関するチェックの機能としては、コンプライアンス・スクリーニング・システムにより売買執行前および執行後のモニタリングを行いチェックします。

〔委託会社における再委託先に対する確認体制〕

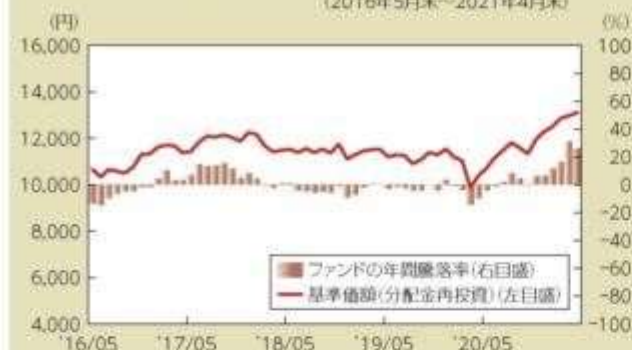
委託会社と再委託先の間で、再委託先がファンド運用コンセプトを維持し、適切に投資リスク管理が図られるよう運用指図権限委託契約として委託内容を定めています。また、委託会社は再委託先に対し定期的に書面による調査等を実施し、投資リスクに対する管理体制の確認を行っています。

また、再委託先からの定期的なデ・タ還元を受け、ファンドのリスクの運営状況の確認を行っているほか、委託会社自身でもモニタリングし、投資リスクを管理しています。

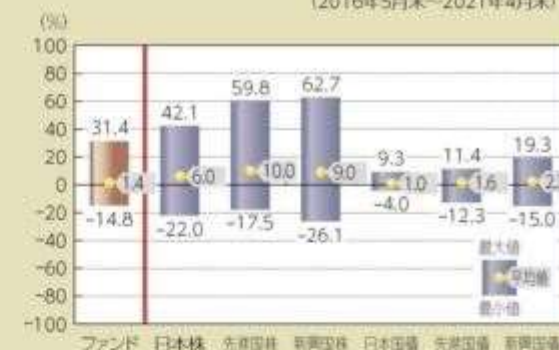
■代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移
(2016年5月末～2021年4月末)



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較
(2016年5月末～2021年4月末)



- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPI(国債)とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(総合)のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

4【手数料等及び税金】

(5)【課税上の取扱い】

< 訂正前 >

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

1. 収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

2. 解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回って

いる場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2020年10月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

< 訂正後 >

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

１．収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

２．解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限り、）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一

ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2021年4月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）】

（１）【投資状況】

令和 3年 4月30日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	2,610,572,156	99.10
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	23,657,256	0.90
純資産総額		2,634,229,412	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位 30 銘柄

令和 3年 4月30日現在

国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	1,748,190,020	1.4763	2,580,852,927	1.4933	2,610,572,156	99.10

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

令和 3年 4月30日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.10
合計	99.10

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和3年4月末日、同日前１年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （１万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末日（平成25年 1月 7日）	17,190,458,776	17,190,458,776	10,623	10,623
第2計算期間末日（平成25年 2月 7日）	16,805,940,114	16,805,940,114	11,121	11,121
第3計算期間末日（平成25年 3月 7日）	14,839,925,968	14,920,109,492	11,104	11,164
第4計算期間末日（平成25年 4月 8日）	13,598,756,106	13,667,896,868	11,801	11,861
第5計算期間末日（平成25年 5月 7日）	12,571,590,029	12,635,440,670	11,813	11,873
第6計算期間末日（平成25年 6月 7日）	9,413,860,804	9,466,370,042	10,757	10,817
第7計算期間末日（平成25年 7月 8日）	5,850,558,019	5,884,405,327	10,371	10,431
第8計算期間末日（平成25年 8月 7日）	5,104,920,850	5,135,773,106	9,928	9,988
第9計算期間末日（平成25年 9月 9日）	4,885,471,818	4,913,984,497	10,281	10,341
第10計算期間末日（平成25年10月 7日）	4,735,329,292	4,762,710,129	10,377	10,437
第11計算期間末日（平成25年11月 7日）	4,712,820,034	4,739,711,781	10,515	10,575
第12計算期間末日（平成25年12月 9日）	4,424,711,345	4,449,976,070	10,508	10,568
第13計算期間末日（平成26年 1月 7日）	4,373,547,835	4,398,598,840	10,475	10,535
第14計算期間末日（平成26年 2月 7日）	4,150,979,120	4,175,220,830	10,274	10,334
第15計算期間末日（平成26年 3月 7日）	4,138,179,812	4,161,810,399	10,507	10,567
第16計算期間末日（平成26年 4月 7日）	4,257,329,427	4,281,096,692	10,748	10,808
第17計算期間末日（平成26年 5月 7日）	4,224,841,958	4,248,533,256	10,700	10,760
第18計算期間末日（平成26年 6月 9日）	4,249,691,830	4,273,284,148	10,808	10,868
第19計算期間末日（平成26年 7月 7日）	4,522,990,352	4,548,025,005	10,840	10,900

第20計算期間末日	(平成26年 8月 7日)	4,826,273,223	4,853,123,130	10,785	10,845
第21計算期間末日	(平成26年 9月 8日)	5,752,478,334	5,783,610,724	11,086	11,146
第22計算期間末日	(平成26年10月 7日)	6,202,114,498	6,236,875,066	10,705	10,765
第23計算期間末日	(平成26年11月 7日)	6,920,376,950	6,957,938,448	11,054	11,114
第24計算期間末日	(平成26年12月 8日)	7,143,086,746	7,180,840,633	11,352	11,412
第25計算期間末日	(平成27年 1月 7日)	7,407,575,321	7,448,703,052	10,807	10,867
第26計算期間末日	(平成27年 2月 9日)	7,530,525,438	7,573,867,043	10,425	10,485
第27計算期間末日	(平成27年 3月 9日)	7,814,233,124	7,858,930,688	10,489	10,549
第28計算期間末日	(平成27年 4月 7日)	8,360,265,449	8,409,301,411	10,230	10,290
第29計算期間末日	(平成27年 5月 7日)	8,579,452,843	8,628,337,620	10,530	10,590
第30計算期間末日	(平成27年 6月 8日)	8,485,096,314	8,533,335,953	10,554	10,614
第31計算期間末日	(平成27年 7月 7日)	8,139,653,998	8,188,001,037	10,102	10,162
第32計算期間末日	(平成27年 8月 7日)	8,166,230,086	8,214,933,534	10,060	10,120
第33計算期間末日	(平成27年 9月 7日)	7,186,826,542	7,234,404,685	9,063	9,123
第34計算期間末日	(平成27年10月 7日)	7,283,998,896	7,330,624,805	9,373	9,433
第35計算期間末日	(平成27年11月 9日)	7,196,546,564	7,242,566,258	9,383	9,443
第36計算期間末日	(平成27年12月 7日)	7,268,908,473	7,314,080,118	9,655	9,715
第37計算期間末日	(平成28年 1月 7日)	6,548,631,407	6,592,379,698	8,981	9,041
第38計算期間末日	(平成28年 2月 8日)	6,388,857,144	6,432,279,746	8,828	8,888
第39計算期間末日	(平成28年 3月 7日)	6,363,157,845	6,406,186,864	8,873	8,933
第40計算期間末日	(平成28年 4月 7日)	6,284,227,790	6,327,002,232	8,815	8,875
第41計算期間末日	(平成28年 5月 9日)	5,865,815,221	5,907,673,329	8,408	8,468
第42計算期間末日	(平成28年 6月 7日)	5,917,265,628	5,959,519,421	8,402	8,462
第43計算期間末日	(平成28年 7月 7日)	5,650,106,090	5,692,148,445	8,063	8,123
第44計算期間末日	(平成28年 8月 8日)	5,766,368,708	5,808,471,670	8,218	8,278
第45計算期間末日	(平成28年 9月 7日)	5,796,452,589	5,838,857,864	8,202	8,262
第46計算期間末日	(平成28年10月 7日)	5,925,110,680	5,968,526,752	8,188	8,248
第47計算期間末日	(平成28年11月 7日)	5,955,667,149	5,999,021,991	8,242	8,302
第48計算期間末日	(平成28年12月 7日)	6,182,810,715	6,225,845,627	8,620	8,680
第49計算期間末日	(平成29年 1月10日)	6,004,788,223	6,046,588,323	8,619	8,679
第50計算期間末日	(平成29年 2月 7日)	5,997,559,299	6,039,358,967	8,609	8,669
第51計算期間末日	(平成29年 3月 7日)	5,891,740,437	5,932,471,969	8,679	8,739
第52計算期間末日	(平成29年 4月 7日)	5,669,054,384	5,709,478,672	8,414	8,474
第53計算期間末日	(平成29年 5月 8日)	5,571,863,643	5,611,969,749	8,336	8,396
第54計算期間末日	(平成29年 6月 7日)	5,504,154,499	5,544,285,027	8,229	8,289
第55計算期間末日	(平成29年 7月 7日)	5,598,614,300	5,638,138,751	8,499	8,559
第56計算期間末日	(平成29年 8月 7日)	5,613,270,182	5,652,134,358	8,666	8,726
第57計算期間末日	(平成29年 9月 7日)	5,488,003,967	5,526,335,311	8,590	8,650
第58計算期間末日	(平成29年10月10日)	5,328,742,155	5,366,311,284	8,510	8,570
第59計算期間末日	(平成29年11月 7日)	5,138,321,274	5,174,436,286	8,537	8,597
第60計算期間末日	(平成29年12月 7日)	4,823,529,666	4,858,612,672	8,249	8,309
第61計算期間末日	(平成30年 1月 9日)	4,842,670,344	4,876,661,435	8,548	8,608

第62計算期間末日	(平成30年 2月 7日)	4,614,727,614	4,648,346,345	8,236	8,296
第63計算期間末日	(平成30年 3月 7日)	4,296,678,767	4,329,777,277	7,789	7,849
第64計算期間末日	(平成30年 4月 9日)	4,240,457,652	4,273,309,865	7,745	7,805
第65計算期間末日	(平成30年 5月 7日)	4,180,181,958	4,212,897,361	7,666	7,726
第66計算期間末日	(平成30年 6月 7日)	4,203,990,077	4,236,178,464	7,836	7,896
第67計算期間末日	(平成30年 7月 9日)	4,024,645,149	4,056,343,345	7,618	7,678
第68計算期間末日	(平成30年 8月 7日)	3,948,722,310	3,980,056,381	7,561	7,621
第69計算期間末日	(平成30年 9月 7日)	3,750,913,220	3,781,786,711	7,290	7,350
第70計算期間末日	(平成30年10月 9日)	3,703,369,080	3,733,984,794	7,258	7,318
第71計算期間末日	(平成30年11月 7日)	3,749,832,809	3,780,268,409	7,392	7,452
第72計算期間末日	(平成30年12月 7日)	3,700,871,732	3,721,031,611	7,343	7,383
第73計算期間末日	(平成31年 1月 7日)	3,470,628,876	3,490,559,520	6,965	7,005
第74計算期間末日	(平成31年 2月 7日)	3,498,190,516	3,518,038,566	7,050	7,090
第75計算期間末日	(平成31年 3月 7日)	3,453,920,854	3,473,413,036	7,088	7,128
第76計算期間末日	(平成31年 4月 8日)	3,446,765,019	3,466,008,684	7,164	7,204
第77計算期間末日	(令和 1年 5月 7日)	3,371,191,256	3,390,350,338	7,038	7,078
第78計算期間末日	(令和 1年 6月 7日)	3,273,906,470	3,292,875,731	6,904	6,944
第79計算期間末日	(令和 1年 7月 8日)	3,303,389,699	3,322,453,512	6,931	6,971
第80計算期間末日	(令和 1年 8月 7日)	3,139,418,833	3,158,395,856	6,617	6,657
第81計算期間末日	(令和 1年 9月 9日)	3,144,559,583	3,163,399,360	6,676	6,716
第82計算期間末日	(令和 1年10月 7日)	3,116,990,872	3,126,410,661	6,618	6,638
第83計算期間末日	(令和 1年11月 7日)	3,063,118,007	3,072,173,103	6,766	6,786
第84計算期間末日	(令和 1年12月 9日)	2,980,065,803	2,988,919,234	6,732	6,752
第85計算期間末日	(令和 2年 1月 7日)	2,935,253,127	2,943,904,780	6,785	6,805
第86計算期間末日	(令和 2年 2月 7日)	2,855,462,901	2,864,017,628	6,676	6,696
第87計算期間末日	(令和 2年 3月 9日)	2,602,604,380	2,611,083,433	6,139	6,159
第88計算期間末日	(令和 2年 4月 7日)	2,425,253,745	2,433,542,689	5,852	5,872
第89計算期間末日	(令和 2年 5月 7日)	2,456,044,805	2,464,274,836	5,968	5,988
第90計算期間末日	(令和 2年 6月 8日)	2,747,174,222	2,755,348,479	6,722	6,742
第91計算期間末日	(令和 2年 7月 7日)	2,696,854,638	2,704,973,600	6,643	6,663
第92計算期間末日	(令和 2年 8月 7日)	2,758,174,834	2,766,292,622	6,795	6,815
第93計算期間末日	(令和 2年 9月 7日)	2,774,997,655	2,783,040,322	6,901	6,921
第94計算期間末日	(令和 2年10月 7日)	2,671,791,818	2,679,801,758	6,671	6,691
第95計算期間末日	(令和 2年11月 9日)	2,616,625,666	2,624,418,065	6,716	6,736
第96計算期間末日	(令和 2年12月 7日)	2,687,454,577	2,695,203,047	6,937	6,957
第97計算期間末日	(令和 3年 1月 7日)	2,705,899,366	2,713,425,392	7,191	7,211
第98計算期間末日	(令和 3年 2月 8日)	2,680,261,677	2,687,677,112	7,229	7,249
第99計算期間末日	(令和 3年 3月 8日)	2,682,422,001	2,689,746,651	7,324	7,344
第100計算期間末日	(令和 3年 4月 7日)	2,700,619,736	2,707,921,867	7,397	7,417
	令和 2年 4月末日	2,530,362,188	—	6,139	—
	5月末日	2,594,475,812	—	6,313	—
	6月末日	2,669,135,148	—	6,559	—

7月末日	2,730,098,394	—	6,720	—
8月末日	2,787,412,534	—	6,888	—
9月末日	2,697,129,624	—	6,735	—
10月末日	2,564,454,434	—	6,576	—
11月末日	2,684,256,563	—	6,915	—
12月末日	2,682,695,088	—	7,086	—
令和 3年 1月末日	2,677,038,008	—	7,184	—
2月末日	2,704,722,408	—	7,370	—
3月末日	2,712,991,956	—	7,419	—
4月末日	2,634,229,412	—	7,473	—

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	—円
第2計算期間	—円
第3計算期間	60円
第4計算期間	60円
第5計算期間	60円
第6計算期間	60円
第7計算期間	60円
第8計算期間	60円
第9計算期間	60円
第10計算期間	60円
第11計算期間	60円
第12計算期間	60円
第13計算期間	60円
第14計算期間	60円
第15計算期間	60円
第16計算期間	60円
第17計算期間	60円
第18計算期間	60円
第19計算期間	60円
第20計算期間	60円
第21計算期間	60円
第22計算期間	60円
第23計算期間	60円
第24計算期間	60円
第25計算期間	60円
第26計算期間	60円
第27計算期間	60円
第28計算期間	60円

第29計算期間	60円
第30計算期間	60円
第31計算期間	60円
第32計算期間	60円
第33計算期間	60円
第34計算期間	60円
第35計算期間	60円
第36計算期間	60円
第37計算期間	60円
第38計算期間	60円
第39計算期間	60円
第40計算期間	60円
第41計算期間	60円
第42計算期間	60円
第43計算期間	60円
第44計算期間	60円
第45計算期間	60円
第46計算期間	60円
第47計算期間	60円
第48計算期間	60円
第49計算期間	60円
第50計算期間	60円
第51計算期間	60円
第52計算期間	60円
第53計算期間	60円
第54計算期間	60円
第55計算期間	60円
第56計算期間	60円
第57計算期間	60円
第58計算期間	60円
第59計算期間	60円
第60計算期間	60円
第61計算期間	60円
第62計算期間	60円
第63計算期間	60円
第64計算期間	60円
第65計算期間	60円
第66計算期間	60円
第67計算期間	60円
第68計算期間	60円
第69計算期間	60円
第70計算期間	60円
第71計算期間	60円

第72計算期間	40円
第73計算期間	40円
第74計算期間	40円
第75計算期間	40円
第76計算期間	40円
第77計算期間	40円
第78計算期間	40円
第79計算期間	40円
第80計算期間	40円
第81計算期間	40円
第82計算期間	20円
第83計算期間	20円
第84計算期間	20円
第85計算期間	20円
第86計算期間	20円
第87計算期間	20円
第88計算期間	20円
第89計算期間	20円
第90計算期間	20円
第91計算期間	20円
第92計算期間	20円
第93計算期間	20円
第94計算期間	20円
第95計算期間	20円
第96計算期間	20円
第97計算期間	20円
第98計算期間	20円
第99計算期間	20円
第100計算期間	20円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	6.23
第2計算期間	4.68
第3計算期間	0.38
第4計算期間	6.81
第5計算期間	0.61
第6計算期間	8.43
第7計算期間	3.03
第8計算期間	3.69
第9計算期間	4.15

第10計算期間	1.51
第11計算期間	1.90
第12計算期間	0.50
第13計算期間	0.25
第14計算期間	1.34
第15計算期間	2.85
第16計算期間	2.86
第17計算期間	0.11
第18計算期間	1.57
第19計算期間	0.85
第20計算期間	0.04
第21計算期間	3.34
第22計算期間	2.89
第23計算期間	3.82
第24計算期間	3.23
第25計算期間	4.27
第26計算期間	2.97
第27計算期間	1.18
第28計算期間	1.89
第29計算期間	3.51
第30計算期間	0.79
第31計算期間	3.71
第32計算期間	0.17
第33計算期間	9.31
第34計算期間	4.08
第35計算期間	0.74
第36計算期間	3.53
第37計算期間	6.35
第38計算期間	1.03
第39計算期間	1.18
第40計算期間	0.02
第41計算期間	3.93
第42計算期間	0.64
第43計算期間	3.32
第44計算期間	2.66
第45計算期間	0.53
第46計算期間	0.56
第47計算期間	1.39
第48計算期間	5.31
第49計算期間	0.68
第50計算期間	0.58
第51計算期間	1.51
第52計算期間	2.36

第53計算期間	0.21
第54計算期間	0.56
第55計算期間	4.01
第56計算期間	2.67
第57計算期間	0.18
第58計算期間	0.23
第59計算期間	1.02
第60計算期間	2.67
第61計算期間	4.35
第62計算期間	2.94
第63計算期間	4.69
第64計算期間	0.20
第65計算期間	0.24
第66計算期間	3.00
第67計算期間	2.01
第68計算期間	0.03
第69計算期間	2.79
第70計算期間	0.38
第71計算期間	2.67
第72計算期間	0.12
第73計算期間	4.60
第74計算期間	1.79
第75計算期間	1.10
第76計算期間	1.63
第77計算期間	1.20
第78計算期間	1.33
第79計算期間	0.97
第80計算期間	3.95
第81計算期間	1.49
第82計算期間	0.56
第83計算期間	2.53
第84計算期間	0.20
第85計算期間	1.08
第86計算期間	1.31
第87計算期間	7.74
第88計算期間	4.34
第89計算期間	2.32
第90計算期間	12.96
第91計算期間	0.87
第92計算期間	2.58
第93計算期間	1.85
第94計算期間	3.04
第95計算期間	0.97

第96計算期間	3.58
第97計算期間	3.94
第98計算期間	0.80
第99計算期間	1.59
第100計算期間	1.26

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	16,190,937,189	8,690,622	16,182,246,567
第2計算期間	1,294,583,609	2,364,259,882	15,112,570,294
第3計算期間	472,588,863	2,221,238,404	13,363,920,753
第4計算期間	378,771,846	2,219,232,205	11,523,460,394
第5計算期間	704,370,401	1,586,057,148	10,641,773,647
第6計算期間	134,607,904	2,024,841,826	8,751,539,725
第7計算期間	211,907,755	3,322,229,472	5,641,218,008
第8計算期間	150,175,668	649,350,958	5,142,042,718
第9計算期間	81,219,235	471,148,665	4,752,113,288
第10計算期間	148,694,220	337,334,650	4,563,472,858
第11計算期間	185,345,902	266,860,837	4,481,957,923
第12計算期間	61,219,941	332,390,333	4,210,787,531
第13計算期間	156,971,260	192,591,156	4,175,167,635
第14計算期間	106,611,678	241,494,306	4,040,285,007
第15計算期間	50,607,574	152,461,348	3,938,431,233
第16計算期間	293,562,388	270,782,718	3,961,210,903
第17計算期間	198,817,215	211,478,311	3,948,549,807
第18計算期間	213,905,600	230,402,290	3,932,053,117
第19計算期間	341,464,790	101,075,577	4,172,442,330
第20計算期間	523,580,662	221,038,395	4,474,984,597
第21計算期間	848,876,470	135,129,392	5,188,731,675
第22計算期間	921,435,883	316,739,530	5,793,428,028
第23計算期間	599,213,813	132,392,101	6,260,249,740
第24計算期間	541,369,137	509,304,356	6,292,314,521
第25計算期間	733,813,252	171,505,781	6,854,621,992
第26計算期間	483,550,530	114,571,686	7,223,600,836
第27計算期間	559,299,304	333,306,105	7,449,594,035
第28計算期間	905,192,430	182,126,107	8,172,660,358
第29計算期間	175,980,390	201,177,892	8,147,462,856
第30計算期間	327,169,364	434,692,376	8,039,939,844
第31計算期間	283,416,756	265,516,759	8,057,839,841
第32計算期間	167,981,181	108,579,607	8,117,241,415

第33計算期間	79,454,924	267,005,829	7,929,690,510
第34計算期間	53,005,697	211,711,334	7,770,984,873
第35計算期間	23,484,825	124,520,663	7,669,949,035
第36計算期間	62,088,338	203,429,822	7,528,607,551
第37計算期間	128,222,817	365,448,447	7,291,381,921
第38計算期間	61,196,730	115,478,221	7,237,100,430
第39計算期間	22,814,842	88,412,103	7,171,503,169
第40計算期間	87,928,953	130,358,450	7,129,073,672
第41計算期間	24,349,370	177,071,628	6,976,351,414
第42計算期間	116,174,164	50,226,702	7,042,298,876
第43計算期間	103,091,169	138,330,811	7,007,059,234
第44計算期間	91,731,591	81,630,463	7,017,160,362
第45計算期間	172,596,368	122,210,848	7,067,545,882
第46計算期間	273,372,040	104,905,761	7,236,012,161
第47計算期間	52,788,959	62,994,034	7,225,807,086
第48計算期間	66,712,350	120,033,946	7,172,485,490
第49計算期間	72,066,652	277,868,758	6,966,683,384
第50計算期間	98,604,277	98,676,213	6,966,611,448
第51計算期間	69,936,004	247,958,776	6,788,588,676
第52計算期間	99,337,845	150,545,135	6,737,381,386
第53計算期間	16,239,542	69,269,794	6,684,351,134
第54計算期間	58,400,553	54,330,206	6,688,421,481
第55計算期間	55,484,506	156,497,333	6,587,408,654
第56計算期間	59,913,678	169,959,597	6,477,362,735
第57計算期間	47,507,572	136,312,856	6,388,557,451
第58計算期間	31,549,068	158,584,918	6,261,521,601
第59計算期間	39,441,427	281,794,343	6,019,168,685
第60計算期間	17,298,237	189,299,138	5,847,167,784
第61計算期間	49,244,042	231,229,921	5,665,181,905
第62計算期間	9,761,256	71,821,215	5,603,121,946
第63計算期間	16,305,713	103,009,221	5,516,418,438
第64計算期間	24,254,880	65,304,389	5,475,368,929
第65計算期間	16,989,346	39,790,954	5,452,567,321
第66計算期間	15,809,884	103,645,928	5,364,731,277
第67計算期間	17,556,717	99,255,262	5,283,032,732
第68計算期間	11,326,474	72,013,927	5,222,345,279
第69計算期間	14,675,638	91,439,064	5,145,581,853
第70計算期間	11,228,662	54,191,370	5,102,619,145
第71計算期間	11,153,718	41,172,775	5,072,600,088
第72計算期間	11,436,082	44,066,231	5,039,969,939
第73計算期間	9,905,968	67,214,720	4,982,661,187
第74計算期間	13,120,235	33,768,821	4,962,012,601
第75計算期間	17,294,719	106,261,790	4,873,045,530

第76計算期間	8,965,779	71,094,866	4,810,916,443
第77計算期間	7,046,040	28,191,885	4,789,770,598
第78計算期間	13,080,589	60,535,756	4,742,315,431
第79計算期間	45,342,857	21,704,846	4,765,953,442
第80計算期間	9,499,542	31,197,065	4,744,255,919
第81計算期間	10,429,070	44,740,661	4,709,944,328
第82計算期間	9,370,981	9,420,795	4,709,894,514
第83計算期間	4,326,943	186,673,172	4,527,548,285
第84計算期間	4,177,661	105,009,966	4,426,715,980
第85計算期間	6,369,104	107,258,574	4,325,826,510
第86計算期間	4,973,355	53,436,254	4,277,363,611
第87計算期間	5,672,704	43,509,689	4,239,526,626
第88計算期間	10,748,817	105,803,394	4,144,472,049
第89計算期間	4,356,667	33,813,008	4,115,015,708
第90計算期間	8,669,461	36,556,372	4,087,128,797
第91計算期間	5,850,617	33,498,123	4,059,481,291
第92計算期間	10,197,183	10,783,985	4,058,894,489
第93計算期間	5,123,972	42,684,903	4,021,333,558
第94計算期間	5,390,300	21,753,801	4,004,970,057
第95計算期間	8,277,995	117,048,286	3,896,199,766
第96計算期間	4,130,980	26,095,253	3,874,235,493
第97計算期間	4,208,627	115,430,796	3,763,013,324
第98計算期間	6,942,243	62,237,763	3,707,717,804
第99計算期間	7,004,797	52,397,311	3,662,325,290
第100計算期間	15,190,908	26,450,413	3,651,065,785

（参考）

A M P オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

投資状況

令和 3年 4月30日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
特殊債券	オーストラリア	167,882,124	2.14
社債券	オーストラリア	6,606,300,541	84.06
	アメリカ	651,060,869	8.28
	小計	7,257,361,410	92.34
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	433,801,866	5.52
純資産総額		7,859,045,400	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

令和 3年 4月30日現在
(単位:円)

資産の種類	建別	国 / 地域	時価合計	投資比率 (%)
債券先物取引	買建	オーストラリア	923,654,624	11.75
	売建	アメリカ	551,573,878	7.02
	売建	オーストラリア	605,594,285	7.71

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

令和 3年 4月30日現在

国 / 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
オーストラリア	社債券	VAR AUST & NZ B 270513	3,400,000	8,786.03	298,725,105	8,800.86	299,229,281	4.750000	2027/5/13	3.81
オーストラリア	社債券	4.5 DOWNER GROUP 220311	3,400,000	8,707.21	296,045,310	8,660.55	294,458,814	4.500000	2022/3/11	3.75
オーストラリア	社債券	3.2 COMMONWEALT 230816	2,500,000	9,135.71	228,392,966	9,012.28	225,307,218	3.200000	2023/8/16	2.87
オーストラリア	社債券	4.3 INCITEC PIVOT 260318	2,400,000	9,129.51	219,108,412	9,325.98	223,823,577	4.300000	2026/3/18	2.85
オーストラリア	社債券	FRN COMMONWEALT 300910	2,500,000	8,482.94	212,073,590	8,657.46	216,436,732	1.835000	2030/9/10	2.75
オーストラリア	社債券	3.85 UNITED ENERG 241023	2,100,000	9,408.09	197,570,047	9,335.34	196,042,274	3.850000	2024/10/23	2.49
オーストラリア	社債券	7.75 QANTAS AIRWA 220519	2,100,000	9,149.29	192,135,136	9,043.28	189,908,918	7.750000	2022/5/19	2.42
オーストラリア	社債券	FRN NATIONAL A 290517	2,000,000	8,737.39	174,747,822	8,724.84	174,496,911	2.160100	2029/5/17	2.22
オーストラリア	社債券	FRN WESTPAC BAN 280614	1,900,000	8,994.07	170,887,331	8,999.48	170,990,193	4.800000	2028/6/14	2.18
オーストラリア	社債券	VAR WESTPAC BAN 270311	1,960,000	8,730.94	171,126,522	8,695.80	170,437,680	4.500000	2027/3/11	2.17
アメリカ	社債券	VAR AUSNET SERV 760317	1,500,000	11,236.12	168,541,943	11,075.52	166,132,814	5.750000	2076/3/17	2.11
オーストラリア	社債券	FRN WESTPAC BAN 290816	1,800,000	8,947.03	161,046,669	9,212.57	165,826,274	4.334000	2029/8/16	2.11
オーストラリア	社債券	FRN SUNCORP-MET 281205	1,600,000	8,529.28	136,468,491	8,649.28	138,388,560	2.187700	2028/12/5	1.76
オーストラリア	社債券	FRN NATIONAL A 301118	1,600,000	8,475.00	135,600,000	8,620.22	137,923,560	1.710000	2030/11/18	1.75
オーストラリア	社債券	3.9 SHOPPING CT 240607	1,500,000	9,056.14	135,842,165	9,153.85	137,307,789	3.900000	2024/6/7	1.75
オーストラリア	社債券	3.25 COMMONWEALT 230425	1,500,000	9,086.58	136,298,836	8,958.77	134,381,664	3.250000	2023/4/25	1.71
オーストラリア	社債券	7.5 QANTAS AIRWAY 210611	1,500,000	8,779.59	131,693,923	8,535.58	128,033,715	7.500000	2021/6/11	1.63

オーストラリア	特殊債券	1 NBN CO LTD 251203	1,500,000	8,468.81	127,032,199	8,341.92	125,128,876	1.000000	2025/12/3	1.59
オーストラリア	社債券	1.843 SGSP AUSTRA 280915	1,500,000	8,568.29	128,524,434	8,301.76	124,526,487	1.843000	2028/9/15	1.58
オーストラリア	社債券	FRN AUST & NZ B 290726	1,400,000	8,548.73	119,682,255	8,699.07	121,787,106	2.040000	2029/7/26	1.55
オーストラリア	社債券	4 CALTEX AUSTRALI 250417	1,300,000	9,155.30	119,018,934	9,213.54	119,776,024	4.000000	2025/4/17	1.52
オーストラリア	社債券	4.5 WSO FINANCE P 270331	1,200,000	9,816.89	117,802,700	9,703.54	116,442,493	4.500000	2027/3/31	1.48
アメリカ	社債券	FRN SCENTRE GRO 800924	1,000,000	10,841.85	108,418,566	11,557.75	115,577,551	4.750000	2080/9/24	1.47
オーストラリア	社債券	3.9 BRISBANE AIRP 250424	1,250,000	8,818.89	110,236,126	9,139.22	114,240,288	3.900000	2025/4/24	1.45
オーストラリア	社債券	1.814 AUSGRID FIN 270205	1,300,000	8,408.78	109,314,152	8,339.56	108,414,314	1.814000	2027/2/5	1.38
アメリカ	社債券	3.65 WOODSIDE FI 250305	925,000	11,553.52	106,870,139	11,603.97	107,336,791	3.650000	2025/3/5	1.37
オーストラリア	社債券	FRN MACQUARIE B 300528	1,200,000	8,755.69	105,068,304	8,942.31	107,307,738	2.930000	2030/5/28	1.37
オーストラリア	社債券	FRN AUSNET SERV 801006	1,200,000	8,486.70	101,840,407	8,850.04	106,200,571	3.135100	2080/10/6	1.35
オーストラリア	社債券	FRN AUST & NZ B 310226	1,200,000	8,469.91	101,638,980	8,679.84	104,158,099	1.880000	2031/2/26	1.33
オーストラリア	社債券	3 DEXUS FINANCE P 320203	1,200,000	8,524.15	102,289,860	8,532.44	102,389,394	3.000000	2032/2/3	1.30

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和 3年 4月30日現在

種類	投資比率（％）
特殊債券	2.14
社債券	92.34
合計	94.48

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

令和 3年 4月30日現在

資産の種類	地域	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額	簿価金額（円）	評価金額	評価金額（円）	投資比率（％）
債券先物取引	アメリカ	シカゴ商品取引所	NOTE5Y 2106	売建	22	アメリカドル	2,749,610.38	299,515,058	2,725,765.68	296,917,655	3.78
	アメリカ	シカゴ商品取引所	NOTE10Y 2106	売建	10	アメリカドル	1,343,337.5	146,329,754	1,319,843.8	143,770,585	1.83
	アメリカ	シカゴ商品取引所	ULTR10Y 2106	売建	7	アメリカドル	1,041,834.78	113,487,063	1,017,953.16	110,885,638	1.41
	オーストラリア	シドニー先物取引所	AUST10Y 2106	買建	78	オーストラリアドル	10,782,564.71	913,822,359	10,898,579.64	923,654,624	11.75

	オーストラリア	シドニー先物取引所	AUST3Y 2106	売建	61	オーストラリアドル	7,143,501.38	605,411,741	7,145,655.29	605,594,285	7.71
--	---------	-----------	-------------	----	----	-----------	--------------	-------------	--------------	-------------	------

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

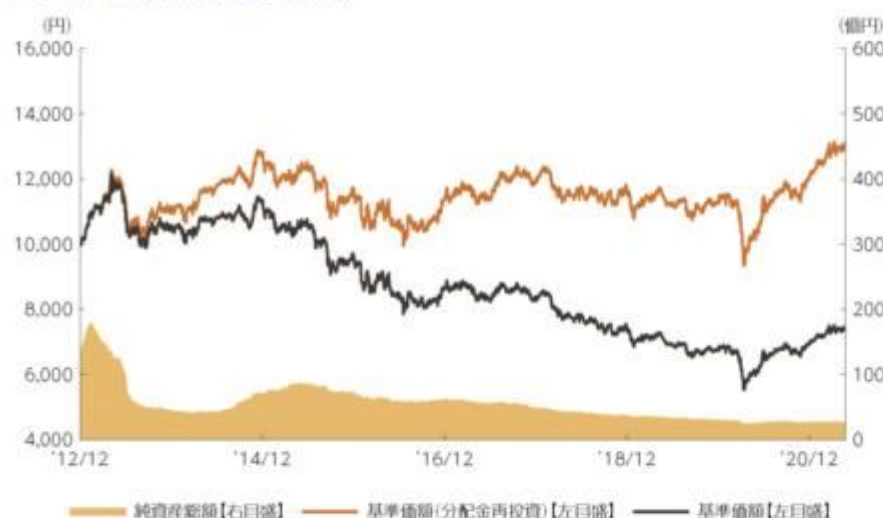
参考情報



運用実績

2021年4月30日現在

■基準価額・純資産の推移 2012年12月7日(設定日)～2021年4月30日



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は10,000を起点として表示
- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	7,473円
純資産総額	26.3億円

・純資産総額は表示桁未満切捨て

■分配の推移

2021年4月	20円
2021年3月	20円
2021年2月	20円
2021年1月	20円
2020年12月	20円
2020年11月	20円
直近1年間累計	240円
設定来累計	4,920円

・分配金は1万口当たり、税引前

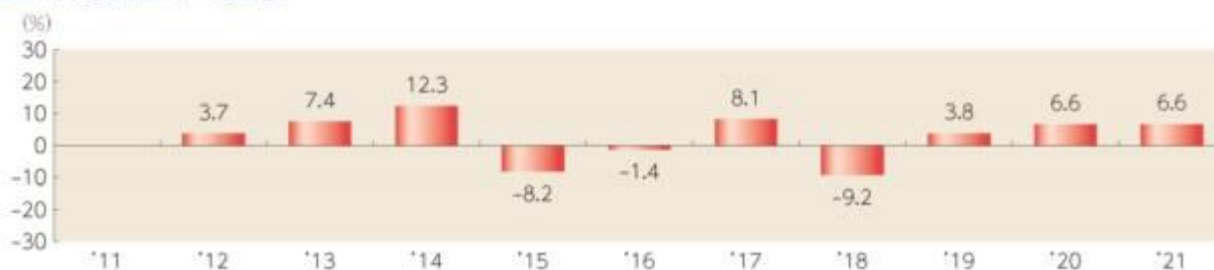
■主要な資産の状況

種別構成	比率	組入上位銘柄	種別	比率
特殊債	2.1%	1 VAR AUST & NZ B 270513	社債	3.8%
社債	91.5%	2 4.5 DOWNER GROUP 220311	社債	3.7%
		3 3.2 COMMONWEALT 230816	社債	2.8%
		4 4.3 INCITEC PIVOT 260318	社債	2.8%
		5 FRN COMMONWEALT 300910	社債	2.7%
		6 3.85 UNITED ENERG 241023	社債	2.5%
		7 7.75 QANTAS AIRWA 220519	社債	2.4%
		8 FRN NATIONAL A 290517	社債	2.2%
		9 FRN WESTPAC BAN 280614	社債	2.2%
		10 VAR WESTPAC BAN 270311	社債	2.1%
コールローン他 (負債控除後)	6.4%			
合計	100.0%			

その他資産の状況	比率
債券先物取引（買建）	11.6%
債券先物取引（売建）	-14.6%

- ・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- ・コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

■年間収益率の推移



- ・収益率は基準価額(分配金再投資)で計算
- ・2012年は設定日から年末までの、2021年は年初から4月30日までの収益率を表示
- ・ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

第３【ファンドの経理状況】

- １ 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第２条の２の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- ２ 毎月決算ファンドの計算期間は６ヵ月未満であるため、財務諸表は６ヵ月毎に作成しております。

- ３ 当ファンドは、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づき、当期（令和２年10月８日から令和３年４月７日まで）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。

１【財務諸表】

【三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）		
	前期 [令和 2年10月 7日現在]	当期 [令和 3年 4月 7日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	12,194,098	14,757,599
親投資信託受益証券	2,644,060,582	2,696,600,326
未収入金	27,000,000	-
流動資産合計	2,683,254,680	2,711,357,925
資産合計	2,683,254,680	2,711,357,925
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	8,009,940	7,302,131
未払受託者報酬	98,361	97,882
未払委託者報酬	3,344,240	3,327,907
未払利息	3	2
その他未払費用	10,318	10,267
流動負債合計	11,462,862	10,738,189
負債合計	11,462,862	10,738,189
純資産の部		
元本等		
元本	4,004,970,057	3,651,065,785
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,333,178,239	950,446,049
（分配準備積立金）	228,460	249,529
元本等合計	2,671,791,818	2,700,619,736
純資産合計	2,671,791,818	2,700,619,736
負債純資産合計	2,683,254,680	2,711,357,925

（２）【損益及び剰余金計算書】

	前期 自 令和 2年 4月 8日 至 令和 2年10月 7日	当期 自 令和 2年10月 8日 至 令和 3年 4月 7日
営業収益		
受取利息	49	25
有価証券売買等損益	407,380,650	342,539,744
営業収益合計	407,380,699	342,539,769
営業費用		
支払利息	3,689	1,255
受託者報酬	586,313	586,840
委託者報酬	19,934,740	19,952,416
その他費用	61,503	61,559
営業費用合計	20,586,245	20,602,070
営業利益又は営業損失（ ）	386,794,454	321,937,699
経常利益又は経常損失（ ）	386,794,454	321,937,699
当期純利益又は当期純損失（ ）	386,794,454	321,937,699
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	1,981,015	2,950,056
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	1,719,218,304	1,333,178,239
剰余金増加額又は欠損金減少額	63,785,794	121,972,088
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	63,785,794	121,972,088
剰余金減少額又は欠損金増加額	13,865,523	13,118,430
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	13,865,523	13,118,430
分配金	48,693,645	45,109,111
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,333,178,239	950,446,049

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

（重要な会計上の見積りに関する注記）

当期〔令和 3年 4月 7日現在〕

当特定期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当特定期間の翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

（貸借対照表に関する注記）

	前期 〔令和 2年10月 7日現在〕	当期 〔令和 3年 4月 7日現在〕
1. 期首元本額	4,144,472,049円	4,004,970,057円
期中追加設定元本額	39,588,200円	45,755,550円
期中一部解約元本額	179,090,192円	399,659,822円
2. 元本の欠損		
純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	1,333,178,239円	950,446,049円
3. 受益権の総数	4,004,970,057口	3,651,065,785口

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期 自 令和 2年 4月 8日 至 令和 2年10月 7日	当期 自 令和 2年10月 8日 至 令和 3年 4月 7日																																																												
1.運用に係る権限を委託するための費用 「AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。 2.分配金の計算過程 第89期 令和 2年 4月 8日 令和 2年 5月 7日	1.運用に係る権限を委託するための費用 「AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。 2.分配金の計算過程 第95期 令和 2年10月 8日 令和 2年11月 9日																																																												
<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>7,228,551円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>119,310,968円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>221,561円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>126,761,080円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>4,115,015,708口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>308円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>8,230,031円</td></tr></table> 第90期 令和 2年 5月 8日 令和 2年 6月 8日	項目			費用控除後の配当等収益額	A	7,228,551円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	収益調整金額	C	119,310,968円	分配準備積立金額	D	221,561円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	126,761,080円	当ファンドの期末残存口数	F	4,115,015,708口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	308円	1万口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	8,230,031円	<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>6,857,547円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>104,452,033円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>221,791円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>111,531,371円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>3,896,199,766口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>286円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>7,792,399円</td></tr></table> 第96期 令和 2年11月10日 令和 2年12月 7日	項目			費用控除後の配当等収益額	A	6,857,547円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	収益調整金額	C	104,452,033円	分配準備積立金額	D	221,791円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	111,531,371円	当ファンドの期末残存口数	F	3,896,199,766口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	286円	1万口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	7,792,399円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	7,228,551円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円																																																											
収益調整金額	C	119,310,968円																																																											
分配準備積立金額	D	221,561円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	126,761,080円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	4,115,015,708口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	308円																																																											
1万口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	8,230,031円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	6,857,547円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円																																																											
収益調整金額	C	104,452,033円																																																											
分配準備積立金額	D	221,791円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	111,531,371円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,896,199,766口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	286円																																																											
1万口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	7,792,399円																																																											
<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>8,390,307円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>117,696,987円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>42,703円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>126,129,997円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>4,087,128,797口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>308円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>8,174,257円</td></tr></table> 第91期	項目			費用控除後の配当等収益額	A	8,390,307円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	収益調整金額	C	117,696,987円	分配準備積立金額	D	42,703円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	126,129,997円	当ファンドの期末残存口数	F	4,087,128,797口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	308円	1万口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	8,174,257円	<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>6,438,020円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>103,093,713円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>65,737円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>109,597,470円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>3,874,235,493口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>282円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>7,748,470円</td></tr></table> 第97期	項目			費用控除後の配当等収益額	A	6,438,020円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	収益調整金額	C	103,093,713円	分配準備積立金額	D	65,737円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	109,597,470円	当ファンドの期末残存口数	F	3,874,235,493口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	282円	1万口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	7,748,470円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	8,390,307円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円																																																											
収益調整金額	C	117,696,987円																																																											
分配準備積立金額	D	42,703円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	126,129,997円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	4,087,128,797口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	308円																																																											
1万口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	8,174,257円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	6,438,020円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円																																																											
収益調整金額	C	103,093,713円																																																											
分配準備積立金額	D	65,737円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	109,597,470円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,874,235,493口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	282円																																																											
1万口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	7,748,470円																																																											

前期 自 令和 2年 4月 8日 至 令和 2年10月 7日			当期 自 令和 2年10月 8日 至 令和 3年 4月 7日		
令和 2年 6月 9日 令和 2年 7月 7日			令和 2年12月 8日 令和 3年 1月 7日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,498,423円	費用控除後の配当等収益額	A	7,050,594円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	116,909,425円	収益調整金額	C	98,635,019円
分配準備積立金額	D	256,635円	分配準備積立金額	D	295,902円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	121,664,483円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	105,981,515円
当ファンドの期末残存口数	F	4,059,481,291口	当ファンドの期末残存口数	F	3,763,013,324口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	299円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	281円
1万口当たり分配金額	H	20円	1万口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	8,118,962円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	7,526,026円
第92期 令和 2年 7月 8日 令和 2年 8月 7日			第98期 令和 3年 1月 8日 令和 3年 2月 8日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	7,960,681円	費用控除後の配当等収益額	A	6,471,877円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	113,256,189円	収益調整金額	C	96,824,715円
分配準備積立金額	D	288,861円	分配準備積立金額	D	193,521円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	121,505,731円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	103,490,113円
当ファンドの期末残存口数	F	4,058,894,489口	当ファンドの期末残存口数	F	3,707,717,804口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	299円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	279円
1万口当たり分配金額	H	20円	1万口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	8,117,788円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	7,415,435円
第93期 令和 2年 8月 8日 令和 2年 9月 7日			第99期 令和 3年 2月 9日 令和 3年 3月 8日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	7,698,201円	費用控除後の配当等収益額	A	6,114,159円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	112,214,985円	収益調整金額	C	94,549,119円
分配準備積立金額	D	130,371円	分配準備積立金額	D	357,167円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	120,043,557円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	101,020,445円
当ファンドの期末残存口数	F	4,021,333,558口	当ファンドの期末残存口数	F	3,662,325,290口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	298円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	275円
1万口当たり分配金額	H	20円	1万口当たり分配金額	H	20円

前期 自 令和 2年 4月 8日 至 令和 2年10月 7日			当期 自 令和 2年10月 8日 至 令和 3年 4月 7日		
収益分配金金額	I=F*H/10,000	8,042,667円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	7,324,650円
第94期 令和 2年 9月 8日 令和 2年10月 7日			第100期 令和 3年 3月 9日 令和 3年 4月 7日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,046,406円	費用控除後の配当等収益額	A	6,577,838円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	111,361,729円	収益調整金額	C	93,178,879円
分配準備積立金額	D	187,024円	分配準備積立金額	D	243,609円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	115,595,159円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	100,000,326円
当ファンドの期末残存口数	F	4,004,970,057口	当ファンドの期末残存口数	F	3,651,065,785口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	288円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	273円
1万口当たり分配金額	H	20円	1万口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	8,009,940円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	7,302,131円

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	前期 自 令和 2年 4月 8日 至 令和 2年10月 7日	当期 自 令和 2年10月 8日 至 令和 3年 4月 7日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左

区分	前期 自 令和 2年 4月 8日 至 令和 2年10月 7日	当期 自 令和 2年10月 8日 至 令和 3年 4月 7日
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	前期 [令和 2年10月 7日現在]	当期 [令和 3年 4月 7日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記) に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等) は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	前期 [令和 2年10月 7日現在]	当期 [令和 3年 4月 7日現在]
	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	80,227,946	37,079,852
合計	80,227,946	37,079,852

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	前期 [令和 2年10月 7日現在]	当期 [令和 3年 4月 7日現在]
1口当たり純資産額	0.6671円	0.7397円
(1万口当たり純資産額)	(6,671円)	(7,397円)

（４）【附属明細表】

第１ 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

（単位：円）

種 類	銘 柄	口数	評価額	備考
親投資信託受益証券	A M P オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	1,826,593,732	2,696,600,326	
合計		1,826,593,732	2,696,600,326	

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。
なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

A M P オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)	
[令和 3年 4月 7日現在]	
資産の部	
流動資産	
預金	146,907,369
コール・ローン	55,103,965
特殊債券	166,541,595
社債券	7,466,674,919
派生商品評価勘定	20,887,910
未収利息	72,105,731
前払費用	1,572,501
差入委託証拠金	153,650,186
流動資産合計	8,083,444,176
資産合計	8,083,444,176
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	3,441,725
未払解約金	51,440,000
未払利息	8
流動負債合計	54,881,733
負債合計	54,881,733
純資産の部	
元本等	
元本	5,438,152,047
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	2,590,410,396
元本等合計	8,028,562,443
純資産合計	8,028,562,443
負債純資産合計	8,083,444,176

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
--------------------	---

2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。 為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

[令和 3年 4月 7日現在]

当期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当期間の翌期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[令和 3年 4月 7日現在]
1. 期首	令和 2年10月 8日
期首元本額	6,503,053,588円
期中追加設定元本額	315,788,974円
期中一部解約元本額	1,380,690,515円
元本の内訳	
オーストラリア好利回り3資産バランス（年2回決算型）	3,596,832,764円
オーストラリア好利回り3資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）	14,725,551円
三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）	1,826,593,732円
合計	5,438,152,047円
2. 受益権の総数	5,438,152,047口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	自 令和 2年10月 8日 至 令和 3年 4月 7日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。

区分	自 令和 2年10月 8日 至 令和 3年 4月 7日
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 当ファンドは、運用の効率化を図るために、債券先物取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、価格変動リスク等の市場リスクおよび信用リスク等を有しております。 当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。 また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。 当ファンドは、ファンドの運用の指図に関する権限を再委託しております。この場合、再委託先で投資リスクに対する管理体制を構築しているほか、当該再委託先のリスクの管理体制や管理状況の確認を委託会社で行っております。

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 3年 4月 7日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	[令和 3年 4月 7日現在]
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
特殊債券	3,851,492
社債券	24,184,777
合計	20,333,285

(注)当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

債券関連

[令和 3年 4月 7日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引				
	買建	1,046,759,892	—	1,051,707,382	4,947,490
	売建	1,470,286,884	—	1,462,216,425	8,070,459
合計		2,517,046,776	—	2,513,923,807	13,017,949

（注）時価の算定方法

1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

通貨関連

[令和 3年 4月 7日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	オーストラリアドル	589,541,076	—	596,495,073	6,953,997
	売建				
	アメリカドル	589,541,076	—	592,126,082	2,585,006
	オーストラリアドル	71,603,150	—	71,543,905	59,245
合計		1,250,685,302	—	1,260,165,060	4,428,236

（注）時価の算定方法

1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- （イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- （ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

２ 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[令和 3年 4月 7日現在]
1口当たり純資産額	1.4763円
(1万口当たり純資産額)	(14,763円)

附属明細表

第１ 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

（単位：円）

通貨	種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備考
アメリカドル	社債券	3.65 WOODSIDE FI 250305	925,000.00	979,691.82	
		4.2 APT PIPELIN 250323	400,000.00	436,704.16	
		4.375 SCENTRE GRO 300528	340,000.00	380,999.34	
		4.5 TRANSURBAN QL 280419	200,000.00	217,442.50	
		4.75 PACIFIC NATI 280322	600,000.00	630,862.80	
		4.875 MACQUARIE B 250610	650,000.00	723,829.00	
		FRN SCENTRE GRO 800924	1,000,000.00	1,057,250.00	
		VAR AUSNET SERV 760317	1,500,000.00	1,528,487.70	
アメリカドル合計			5,615,000.00	5,955,267.32 (654,007,457)	
オーストラリアドル	特殊債券	1 NBN CO LTD 251203	1,500,000.00	1,477,306.81	
		2.2 AIRSERV AUST 300515	500,000.00	501,326.85	

特殊債券 小計		2,000,000.00	1,978,633.66 (166,541,595)	
社債券	1.814 AUSGRID FIN 270205	1,300,000.00	1,273,822.36	
	1.8152 AGI FINANC 281123	1,100,000.00	1,052,674.77	
	1.843 SGSP AUSTRA 280915	1,500,000.00	1,461,601.96	
	2.2 GTA FINANCE C 270826	500,000.00	494,450.84	
	2.25 MACQUARIE UN 300522	500,000.00	487,148.60	
	2.317 CHARTER HAL 300925	500,000.00	475,966.69	
	2.485 CPIF FINANC 301028	900,000.00	862,691.19	
	2.525 GPT WHL OFF 260112	1,000,000.00	1,040,246.50	
	2.6 AUSNET SERV 290731	1,000,000.00	1,015,982.60	
	2.6 MIRVAC GROUP 290918	500,000.00	499,434.60	
	2.65 ORIGIN ENERG 271111	500,000.00	504,173.40	
	2.7 WSO FINANCE P 300628	500,000.00	496,049.69	
	2.787 CHARTER HAL 310303	500,000.00	490,724.31	
	2.849 GPT WHL OFF 320220	1,000,000.00	979,829.60	
	2.9 AURIZON NETWO 300902	1,000,000.00	966,290.96	
	2.95 QANTAS AIRWA 291127	500,000.00	480,867.72	
	3 AURIZON FINANCE 280309	500,000.00	502,394.60	
	3 DEXUS FINANCE P 320203	1,200,000.00	1,189,442.46	
	3 EDITH COWAN UNI 290411	450,000.00	470,085.21	
	3.1 AUST & NZ B 240208	500,000.00	536,051.05	
	3.1 BRISBANE AIRP 260630	500,000.00	520,210.90	
	3.15 WESTCONNEX F 310331	1,100,000.00	1,095,718.89	
	3.2 COMMONWEALT 230816	2,500,000.00	2,662,720.25	
	3.25 COMMONWEALT 230425	1,500,000.00	1,588,358.55	
	3.591 GPT WHL OFF 231107	600,000.00	637,762.20	
	3.6725 GPT WHL OF 240919	600,000.00	648,446.16	
	3.7 ASCIANO FIN 290924	860,000.00	861,012.47	
	3.7 AUSTRALIAN CA 270803	500,000.00	536,713.95	
	3.7 DOWNER GROUP 260429	500,000.00	530,538.30	
	3.75 AUSTRALIAN P 240522	500,000.00	515,074.10	
	3.75 TRANSURBAN Q 231012	1,100,000.00	1,165,052.35	
	3.85 UNITED ENERG 241023	2,600,000.00	2,866,595.16	
	3.9 BRISBANE AIRP 250424	1,250,000.00	1,345,698.12	
	3.9 LONSDALE FINA 251015	600,000.00	662,382.96	
	3.9 SHOPPING CT 240607	1,500,000.00	1,621,716.30	
	4 AURIZON NETWORK 240621	1,000,000.00	1,080,232.80	
	4 CALTEX AUSTRALI 250417	1,300,000.00	1,413,533.81	
	4.2 AUSNET SERV 280821	500,000.00	571,918.55	
	4.225 DBNGP FINAN 250528	1,000,000.00	1,103,922.10	
	4.3 INCITEC PIVOT 260318	2,400,000.00	2,629,314.48	
	4.5 BRISBANE AIRP 301230	1,000,000.00	1,083,318.50	

	4.5 DOWNER GROUP 220311	3,400,000.00	3,481,959.38	
	4.5 WSO FINANCE P 270331	1,200,000.00	1,370,731.20	
	4.75 QANTAS AIRWA 261012	500,000.00	552,112.60	
	5 NATIONAL AUSTRA 240311	500,000.00	565,123.50	
	5.25 PACIFIC NATI 250519	1,000,000.00	1,109,191.00	
	5.25 QANTAS AIRWA 300909	1,000,000.00	1,099,047.50	
	7.5 QANTAS AIRWAY 210611	1,500,000.00	1,517,209.35	
	7.75 QANTAS AIRWA 220519	2,100,000.00	2,246,984.04	
	FRN AMPOL LTD 801209	600,000.00	619,732.44	
	FRN AUSNET SERV 801006	1,200,000.00	1,253,916.00	
	FRN AUST & NZ B 290726	1,400,000.00	1,437,534.00	
	FRN AUST & NZ B 310226	1,200,000.00	1,229,409.12	
	FRN BENDIGO AND 301119	500,000.00	507,520.75	
	FRN COMMONWEALT 300910	2,500,000.00	2,554,675.00	
	FRN CROWN LTD PLA 700423	413,300.00	396,672.94	
	FRN MACQUARIE B 300528	1,200,000.00	1,266,732.00	
	FRN NATIONAL A 260921	500,000.00	504,475.55	
	FRN NATIONAL A 290517	2,000,000.00	2,059,004.40	
	FRN NATIONAL A 301118	1,600,000.00	1,627,798.40	
	FRN NATIONAL A 311118	550,000.00	569,972.26	
	FRN SUNCORP-MET 281205	1,600,000.00	1,630,824.80	
	FRN SUNCORP-MET 351201	900,000.00	918,805.14	
	FRN SUNCORP-MET 421006	1,000,000.00	1,025,507.20	
	FRN WESTPAC BAN 280614	1,900,000.00	2,021,361.93	
	FRN WESTPAC BAN 290816	1,800,000.00	1,955,046.78	
	FRN WESTPAC BAN 290827	900,000.00	924,736.41	
	VAR AUST & NZ B 270513	3,900,000.00	4,058,006.55	
	VAR WESTPAC BAN 270311	1,960,000.00	2,015,117.94	
	社債券 小計	77,683,300.00	80,939,378.19 (6,812,667,462)	
オーストラリアドル合計		79,683,300.00	82,918,011.85 (6,979,209,057)	
合計			7,633,216,514 (7,633,216,514)	

(注1)通貨の種類ごとの小計／合計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入債券 時価比率	有価証券の 合計金額に 対する比率
アメリカドル	社債券 8銘柄	100.00%	8.57%

オーストラリアドル	特殊債券	2銘柄	2.39%	2.18%
	社債券	69銘柄	97.61%	89.25%

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。

２【ファンドの現況】

【三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）】

【純資産額計算書】

令和 ３年 ４月30日現在

（単位：円）

資産総額	2,638,803,133
負債総額	4,573,721
純資産総額（ - ）	2,634,229,412
発行済口数	3,524,918,634口
1口当たり純資産価額（ / ）	0.7473
（10,000口当たり）	（7,473）

（参考）

ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

純資産額計算書

令和 ３年 ４月30日現在

（単位：円）

資産総額	7,906,822,532
負債総額	47,777,132
純資産総額（ - ）	7,859,045,400
発行済口数	5,263,040,300口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.4933
（10,000口当たり）	（14,933）

第三部【委託会社等の情報】

第１【委託会社等の概況】

１【委託会社等の概況】

< 更新後 >

（１）資本金の額等

2021年4月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近５年間における資本金の額の増減はありません。

（２）委託会社の機構

・会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の３分の１以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

・投資運用の意思決定機構

投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

運用戦略の決定

運用戦略委員会において、で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

投資行動のモニタリング１

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

投資行動のモニタリング２

運用部から独立した管理担当部署は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

ファンドに関係する法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に関係する法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

< 更新後 >

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

2021年 4月30日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本 数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	885	17,147,578
追加型公社債投資信託	16	1,456,375
単位型株式投資信託	78	349,263
単位型公社債投資信託	42	181,276
合 計	1,021	19,134,493

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

3【委託会社等の経理状況】

< 更新後 >

（１）財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱ＵＦＪ国際投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

なお、財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

（２）監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第36期事業年度（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

（１）【貸借対照表】

(単位：千円)

	第35期 (令和2年3月31日現在)	第36期 (令和3年3月31日現在)
(資産の部)		

流動資産				
現金及び預金	2	56,398,457	2	56,803,388
有価証券		1,960,318		2,001
前払費用		575,904		598,135
未収入金		14,559		31,359
未収委託者報酬		10,296,453		13,216,357
未収収益	2	638,994	2	662,230
金銭の信託		100,000		2,300,000
その他		254,330		269,506
流動資産合計		70,239,017		73,882,978
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	584,048	1	548,902
器具備品	1	871,893	1	1,435,369
土地		628,433		628,433
有形固定資産合計		2,084,375		2,612,705
無形固定資産				
電話加入権		15,822		15,822
ソフトウェア		3,369,611		3,569,171
ソフトウェア仮勘定		1,374,932		1,895,190
無形固定資産合計		4,760,365		5,480,184
投資その他の資産				
投資有価証券		16,704,756		18,616,670
関係会社株式		320,136		320,136
投資不動産	1	819,255	1	814,684
長期差入保証金		565,358		538,497
前払年金費用		375,031		258,835
繰延税金資産		1,912,824		916,962
その他		45,230		45,230
貸倒引当金		23,600		23,600
投資その他の資産合計		20,718,993		21,487,417
固定資産合計		27,563,734		29,580,307
資産合計		97,802,752		103,463,286

(単位：千円)

	第35期 (令和2年3月31日現在)		第36期 (令和3年3月31日現在)	
(負債の部)				
流動負債				
預り金		687,565		533,622
未払金				
未払収益分配金		131,478		158,856
未払償還金		395,400		133,877
未払手数料	2	4,026,078	2	5,200,810
その他未払金	2	3,818,195	2	4,412,521
未払費用	2	4,402,578	2	4,755,909
未払消費税等		629,469		752,617
未払法人税等		617,341		873,027
賞与引当金		933,517		933,381

役員賞与引当金	124,590	160,710
その他	701,285	691,143
流動負債合計	16,467,499	18,606,476
固定負債		
長期未払金	32,400	21,600
退職給付引当金	1,010,401	1,145,514
役員退職慰労引当金	130,784	117,938
時効後支払損引当金	238,811	245,426
固定負債合計	1,412,398	1,530,479
負債合計	17,879,897	20,136,956
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000,131	2,000,131
資本剰余金		
資本準備金	3,572,096	3,572,096
その他資本剰余金	41,160,616	41,160,616
資本剰余金合計	44,732,712	44,732,712
利益剰余金		
利益準備金	342,589	342,589
その他利益剰余金		
別途積立金	6,998,000	6,998,000
繰越利益剰余金	25,847,605	26,951,289
利益剰余金合計	33,188,194	34,291,879
株主資本合計	79,921,039	81,024,723

(単位：千円)

	第35期 (令和2年3月31日現在)	第36期 (令和3年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,815	2,301,606
評価・換算差額等合計	1,815	2,301,606
純資産合計	79,922,854	83,326,329
負債純資産合計	97,802,752	103,463,286

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	67,967,489	67,963,712
投資顧問料	2,385,084	2,443,980
その他営業収益	16,085	21,613
営業収益合計	70,368,658	70,429,306
営業費用		
支払手数料	2 27,106,451	2 26,689,896

広告宣伝費	696,418	668,150
公告費	1,000	250
調査費		
調査費	1,857,271	2,077,942
委託調査費	11,579,175	12,035,954
事務委託費	847,769	798,528
営業雑経費		
通信費	153,731	296,490
印刷費	427,118	378,180
協会費	52,053	51,841
諸会費	15,990	16,613
事務機器関連費	1,953,926	1,977,769
その他営業雑経費	-	8,391
営業費用合計	44,690,907	45,000,009
一般管理費		
給料		
役員報酬	331,987	352,879
給料・手当	6,611,427	6,461,546
賞与引当金繰入	933,517	933,381
役員賞与引当金繰入	124,590	160,710
福利厚生費	1,276,950	1,272,568
交際費	11,871	2,721
旅費交通費	165,891	22,768
租税公課	360,165	402,939
不動産賃借料	647,402	666,331
退職給付費用	422,919	481,135
役員退職慰労引当金繰入	48,183	11,763
固定資産減価償却費	1,307,555	1,358,911
諸経費	427,212	413,538
一般管理費合計	12,669,674	12,541,193
営業利益	13,008,076	12,888,103

(単位：千円)

	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	90,965	170,807
受取利息	2 4,169	2 2,726
投資有価証券償還益	585,179	81,557
収益分配金等時効完成分	101,734	275,835
受取賃貸料	2 65,808	2 65,808
その他	19,987	12,504
営業外収益合計	867,845	609,239
営業外費用		
投資有価証券償還損	96,379	95,946
時効後支払損引当金繰入	-	16,395
事務過誤費	3,483	-
賃貸関連費用	20,339	13,472
その他	1,920	2,932
営業外費用合計	122,122	128,747

経常利益		13,753,799		13,368,595
特別利益				
投資有価証券売却益		174,842		2,007,655
特別利益合計		174,842		2,007,655
特別損失				
投資有価証券売却損		75,963		51,737
投資有価証券評価損		163,865		26,317
固定資産除却損	1	8,832	1	536
固定資産売却損		435		-
特別損失合計		249,096		78,591
税引前当期純利益		13,679,545		15,297,659
法人税、住民税及び事業税	2	4,146,534	2	4,755,427
法人税等調整額		79,824		19,122
法人税等合計		4,226,359		4,736,304
当期純利益		9,453,186		10,561,354

（３）【株主資本等変動計算書】

第35期（自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,069,594	33,410,184	80,143,028
当期変動額									
剰余金の配当							9,675,175	9,675,175	9,675,175
当期純利益							9,453,186	9,453,186	9,453,186
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	221,989	221,989	221,989
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	25,847,605	33,188,194	79,921,039

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,126,733	1,126,733	81,269,762
当期変動額			
剰余金の配当			9,675,175
当期純利益			9,453,186
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,124,917	1,124,917	1,124,917
当期変動額合計	1,124,917	1,124,917	1,346,907
当期末残高	1,815	1,815	79,922,854

第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	25,847,605	33,188,194	79,921,039

当期変動額									
剰余金の配当							9,457,670	9,457,670	9,457,670
当期純利益							10,561,354	10,561,354	10,561,354
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	1,103,684	1,103,684	1,103,684
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,951,289	34,291,879	81,024,723

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,815	1,815	79,922,854
当期変動額			
剰余金の配当			9,457,670
当期純利益			10,561,354
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	2,299,791	2,299,791	2,299,791
当期変動額合計	2,299,791	2,299,791	3,403,475
当期末残高	2,301,606	2,301,606	83,326,329

[注記事項]

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	2年～20年
投資不動産	3年～47年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2)賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3)役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5)役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(6)時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

6. その他財務諸表作成のための基礎となる事項

(1)消費税等の会計処理

税抜方式を採用しており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2)連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(3)「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」の適用

令和2年度税制改正において従来の連結納税制度が見直され、グループ通算制度に移行する税制改正法（「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号））が令和2年3月31日に公布されておりますが、繰延税金資産の額について、実務対応報告第39号「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」により企業会計基準適用指針第28号「税効果会計に係る会計基準の適用指針」第44項の定めを適用せず、改正前の税法の規定に基づいて算定しております。

（未適用の会計基準等）

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日 企業会計基準委員会）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 令和2年3月31日 企業会計基準委員会）
- ・「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 令和2年3月31日 企業会計基準委員会）

(1)概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、平成26年5月に「顧客との契約から生じる収益」（IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606）を公表しており、IFRS第15号は平成30年1月1日以後開始する事業年度から、Topic606は平成29年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわせない範囲で代替的な取扱いを追加することとされております。

(2)適用予定日

令和4年3月期の期首から適用します。

(3)当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用により、翌事業年度の期首の純資産に累積的影響額が反映され、繰越利益剰余金の期首残高が475,687千円増加すると見込まれます。

- ・「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 令和元年7月4日 企業会計基準委員会）
- ・「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 令和元年7月4日 企業会計基準委員会）
- ・「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 令和元年7月4日 企業会計基準委員会）
- ・「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 令和2年3月31日 企業会計基準委員会）

(1)概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）が、公正価値測定についてほぼ同じ内容の詳細なガイダンス（国際財務報告基準（IFRS）においてはIFRS第13号「公正価値測定」、米国会計基準においてはAccounting Standards CodificationのTopic 820「公正価値測定」）を定めている状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、主に金融商品の時価に関するガイダンス及び開示に関して、日本基準を国際的な会計基準との整合性を図る取組みが行われ、「時価の算定に関する会計基準」等が公表されたものです。

企業会計基準委員会の時価の算定に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、統一的な算定方法を用いることにより、国内外の企業間における財務諸表の比較可能性を向上させる観点から、IFRS第13号の定めを基本的にすべて取り入れることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮し、財務諸表間の比較可能性を大きく損なわせない範囲で、個別項目に対するその他の取扱いを定めることとされております。

(2)適用予定日

令和4年3月期の期首から適用します。

(3)当該会計基準等の適用による影響

「時価の算定に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

(貸借対照表関係)

1.有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額

	第35期 (令和2年3月31日現在)	第36期 (令和3年3月31日現在)
建物	599,542千円	643,920千円
器具備品	1,408,613千円	1,545,179千円
投資不動産	145,391千円	151,833千円

2.関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第35期 (令和2年3月31日現在)	第36期 (令和3年3月31日現在)
預金	314,247千円	40,328,414千円
未収収益	15,773千円	14,138千円
未払手数料	712,210千円	772,495千円
その他未払金	3,029,426千円	3,425,136千円
未払費用	432,019千円	349,222千円

(損益計算書関係)

1.固定資産除却損の内訳

	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
器具備品	8,832千円	536千円

計	8,832千円	536千円
---	---------	-------

2. 関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
支払手数料	5,234,629千円	5,128,270千円
受取利息	2千円	143千円
受取賃貸料	65,808千円	65,808千円
法人税、住民税及び事業税	3,030,180千円	3,492,898千円

(株主資本等変動計算書関係)

第35期(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

令和元年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	9,675,175千円
1株当たり配当額	45,728円
基準日	平成31年3月31日
効力発生日	令和元年6月27日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和2年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	9,457,670千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	44,700円
基準日	令和2年3月31日
効力発生日	令和2年6月29日

第36期(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

令和2年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	9,457,670千円
1株当たり配当額	44,700円
基準日	令和2年3月31日
効力発生日	令和2年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和3年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	10,576,511千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	49,988円
基準日	令和3年3月31日
効力発生日	令和3年6月29日

（リース取引関係）

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第35期 (令和2年3月31日現在)	第36期 (令和3年3月31日現在)
1年内	675,956千円	709,808千円
1年超	—	709,808千円
合計	675,956千円	1,419,616千円

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、金銭の信託（合同運用指定金銭信託）で運用し、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第35期(令和2年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 現金及び預金	56,398,457	56,398,457	-
(2) 有価証券	1,960,318	1,960,318	-
(3) 金銭の信託	100,000	100,000	-
(4) 未収委託者報酬	10,296,453	10,296,453	-
(5) 投資有価証券	16,673,396	16,673,396	-
資産計	85,428,625	85,428,625	-
(1) 未払手数料	4,026,078	4,026,078	-
負債計	4,026,078	4,026,078	-

第36期(令和3年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 現金及び預金	56,803,388	56,803,388	-
(2) 有価証券	2,001	2,001	-
(3) 金銭の信託	2,300,000	2,300,000	-
(4) 未収委託者報酬	13,216,357	13,216,357	-
(5) 投資有価証券	18,585,310	18,585,310	-
資産計	90,907,057	90,907,057	-

(1) 未払手数料	5,200,810	5,200,810	-
負債計	5,200,810	5,200,810	-

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金、(4)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2)有価証券、(5)投資有価証券

これらはすべて投資信託であり、時価は基準価額によっております。

(3)金銭の信託

時価は取引金融機関から提示された価格によっております。

負 債

(1)未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区分	第35期 (令和2年3月31日現在)	第36期 (令和3年3月31日現在)
非上場株式	31,360	31,360
子会社株式	160,600	160,600
関連会社株式	159,536	159,536

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5)投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第35期(令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	56,398,457	-	-	-
金銭の信託	100,000	-	-	-
未収委託者報酬	10,296,453	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	1,960,318	5,652,257	4,813,929	27,375
合計	68,755,228	5,652,257	4,813,929	27,375

第36期(令和3年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	56,803,388	-	-	-
金銭の信託	2,300,000	-	-	-
未収委託者報酬	13,216,357	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	2,001	8,412,286	3,123,026	11,398
合計	72,321,747	8,412,286	3,123,026	11,398

（有価証券関係）

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円、前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

第35期(令和2年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるものの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	9,859,345	8,694,010	1,165,334
	小計	9,859,345	8,694,010	1,165,334
貸借対照表計上額が取得原価を超えないものの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	8,874,369	10,037,087	1,162,718
	小計	8,874,369	10,037,087	1,162,718
合計		18,733,714	18,731,098	2,616

(注)「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」（貸借対照表計上額は100,000千円）を含めておりません。

非上場株式（貸借対照表計上額は31,360千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、含めておりません。

第36期(令和3年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるものの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	14,810,957	11,362,471	3,448,485
	小計	14,810,957	11,362,471	3,448,485
貸借対照表計上額が取得原価を超えないものの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	6,076,354	6,207,447	131,093
	小計	6,076,354	6,207,447	131,093
合計		20,887,311	17,569,919	3,317,392

(注)「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」（貸借対照表計上額は2,300,000千円）を含めておりません。

非上場株式（貸借対照表計上額は31,360千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、含めておりません。

3. 売却したその他有価証券

第35期（自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	8,940	-	15,060
債券	-	-	-
その他	2,035,469	174,842	60,903
合計	2,044,409	174,842	75,963

第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	-	-	-

債券	-	-	-
その他	5,747,529	2,007,655	51,737
合計	5,747,529	2,007,655	51,737

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について163,865千円（その他有価証券のその他163,865千円）減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について26,317千円（その他有価証券のその他26,317千円）減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

（退職給付関係）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度）及び退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
退職給付債務の期首残高	3,712,289 千円	3,718,736 千円
勤務費用	204,225	203,106
利息費用	17,557	19,110
数理計算上の差異の 発生額	52,430	18,826
退職給付の支払額	162,904	192,890
過去勤務費用の発生額	-	-
退職給付債務の期末残高	3,718,736	3,729,235

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
年金資産の期首残高	2,666,937 千円	2,460,824 千円
期待運用収益	47,757	44,130
数理計算上の差異の 発生額	164,633	304,281
事業主からの拠出額	51,282	-
退職給付の支払額	140,518	159,390
年金資産の期末残高	2,460,824	2,649,846

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第35期 (令和2年3月31日現在)	第36期 (令和3年3月31日現在)
積立型制度の 退職給付債務	2,969,807 千円	2,810,893 千円
年金資産	2,460,824	2,649,846
	508,982	161,046
非積立型制度の退職給付債務	748,929	918,342
未積立退職給付債務	1,257,911	1,079,388
未認識数理計算上の差異	203,136	161,333

未認識過去勤務費用	419,405	354,043
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	635,370	886,678
退職給付引当金	1,010,401	1,145,514
前払年金費用	375,031	258,835
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	635,370	886,678

(4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
勤務費用	204,225 千円	203,106 千円
利息費用	17,557	19,110
期待運用収益	47,757	44,130
数理計算上の差異の費用処理額	24,035	41,361
過去勤務費用の費用処理額	65,361	65,361
その他	6,427	44,446
確定給付制度に係る退職給付費用	269,848	329,255

（注）「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額、再就職支援金及び退職金です。

(5)年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第35期 (令和2年3月31日現在)	第36期 (令和3年3月31日現在)
債券	64.7 %	62.7 %
株式	32.3	35.4
その他	3.0	1.9
合計	100	100

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6)数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第35期 (令和2年3月31日現在)	第36期 (令和3年3月31日現在)
割引率	0.095～0.52%	0.051～0.59%
長期期待運用収益率	1.5～1.8%	1.5～1.8%

3.確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度153,070千円、当事業年度151,880千円であります。

(税効果会計関係)

1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第35期 (令和2年3月31日現在)	第36期 (令和3年3月31日現在)
繰延税金資産		
減損損失	427,046千円	418,394千円

投資有価証券評価損	226,322	188,859
未払事業税	117,461	180,263
賞与引当金	285,842	285,801
役員賞与引当金	19,703	25,472
役員退職慰労引当金	40,046	36,112
退職給付引当金	309,384	350,756
減価償却超過額	96,767	68,024
委託者報酬	213,044	209,938
長期差入保証金	40,180	48,639
時効後支払損引当金	73,124	75,149
連結納税適用による時価評価	57,656	38,873
その他	123,248	87,023
繰延税金資産 小計	2,029,829	2,013,308
評価性引当額	-	-
繰延税金資産 合計	2,029,829	2,013,308
繰延税金負債		
前払年金費用	114,834	79,225
連結納税適用による時価評価	1,260	1,203
その他有価証券評価差額金	801	1,015,785
その他	109	101
繰延税金負債 合計	117,005	1,096,346
繰延税金資産の純額	1,912,824	916,962

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳
第35期（令和2年3月31日現在）及び第36期（令和3年3月31日現在）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第35期（自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）及び第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第35期（自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）及び第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第35期（自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末残高 (注4)
親会社	(株)三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 (注1)	3,030,180 千円	その他未払金	3,029,426 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行(株)	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,234,629 千円	未払手数料	712,210 千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料 (注3)	583,270 千円	未払費用	302,681 千円

第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末残高 (注4)
親会社	(株)三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 (注1)	3,492,898 千円	その他未払金	3,425,136 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行(株)	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,128,270 千円	未払手数料	772,495 千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料 (注3)	523,327 千円	未払費用	290,120 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 連結納税制度に基づく連結法人税の支払予定額であります。

2. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

3. 投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。

4. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第35期（自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注3)	科目	期末残高 (注3)
同一の親会社を持つ会社	㈱三菱UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958 百万円	銀行業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払（注1）	4,073,855 千円	未払手数料	697,109 千円
							取引銀行 コーラブル預金の払戻（注2）	20,000,000 千円		
							コーラブル預金の預入（注2）	20,000,000 千円	現金及び預金	20,000,000 千円
							コーラブル預金に係る受取利息（注2）	4,126 千円	未収収益	997 千円
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	東京都千代田区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払（注1）	5,714,501 千円	未払手数料	944,351 千円

第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注3)	科目	期末残高 (注3)
同一の親会社を持つ会社	㈱三菱UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958 百万円	銀行業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払（注1）	3,729,785 千円	未払手数料	764,501 千円
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	東京都千代田区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払（注1）	5,655,482 千円	未払手数料	1,193,245 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
2. 預金利率の条件は、市場金利等を勘案して決定しております。なお、預入期間は1年であります。
3. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示して

おります。

2. 親会社に関する注記

株式会社三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社（非上場）

（１株当たり情報）

	第35期 （自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）	第36期 （自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）
１株当たり純資産額	377,741.17円	393,827.09円
１株当たり当期純利益金額	44,678.80円	49,916.36円

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

２．１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第35期 （自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）	第36期 （自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）
当期純利益金額（千円）	9,453,186	10,561,354
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る当期純利益金額（千円）	9,453,186	10,561,354
普通株式の期中平均株式数（株）	211,581	211,581

第２【その他の関係法人の概況】

１【名称、資本金の額及び事業の内容】

< 更新後 >

（１）受託会社

名称：三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社

（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）

資本金の額：324,279百万円（2020年9月末現在）

事業の内容：銀行業務および信託業務を営んでいます。

（２）販売会社

名称	資本金の額 （2020年9月末現在）	事業の内容
株式会社三菱ＵＦＪ銀行	1,711,958 百万円	銀行業務を営んでいます。
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	324,279 百万円	銀行業務および信託業務を営んでいます。
三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社	40,500 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

（３）再委託先

名称：AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッド

資本金の額：70百万豪ドル（2020年12月末現在）

事業の内容：投資運用業務を営んでいます。

３【資本関係】

< 訂正前 >

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。（2020年10月末現在）

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%（211,581株）を所有しています。

（注）関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

< 訂正後 >

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。（2021年4月末現在）

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%（211,581株）を所有しています。

（注）関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

独立監査人の監査報告書

令和３年５月１２日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

取締役会 御中

PWCあらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 鶴田 光夫 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 和田 渉 印
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）の令和２年１０月８日から令和３年４月７日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）の令和３年４月７日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況

により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

令和3年6月28日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
東京事務所指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

青木 裕晃 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

伊藤 鉄也 印

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ国際投信株式会社の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第36期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社の令和3年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。